

《無断転載を禁ずる》

2024年度 群馬県立女子大学文学部美学美術史学科  
一般選抜（前期）

出題意図

宮島新一『肖像画の視線 源頼朝像から浮世絵まで』（吉川弘文館、2010年）を題材に、次のような出題を行いました。

問（1） 本学科に入学して学ぶために必要な基本的語彙力があるかを問いました。

問（2） 著者の述べる「まったく似ていなくても肖像画として十分通用した」について、本文の内容に即して論理的に説明できるかを問いました。

問（3） 著者の述べる「死と肖像を分離する」について、本文の内容に即して論理的に説明できるかを問いました。

問（4） 日本における肖像画の歴史的な変化についての著者の考えを的確に理解し、まとめられているか、肖像画に対する自身の考えを論理的に述べられているか、主張に一貫性があるか、文章表現および表記が適切か、以上を問いました。